

研究課題名 婦人科癌に対する生物学的解析と放射線画像を用いた新規人工知能診断・予後予測システムの構築
研究責任者名 県立広島病院 産婦人科 主任部長 三好 博史
研究期間 許可日（2023年7月20日） ～ 2026年3月31日
対象者 許可日から2026年3月31日に県立広島病院で婦人科悪性腫瘍と診断治療された患者さん。
意義・目的 患者さんごとの背景・医療画像・生物学的解析データ・オミックスデータなどの情報を統合的に判断し、新規人工知能（AI）診断・予後予測システムを構築することを目的とします。その結果、がん治療においてこれまで困難であった様々な特徴をもつ腫瘍（患者さん）ごとに治療方法の検討を行う“がん個別化治療”へ向けて、大きな意義をもつ研究となることが期待されます。
方法 本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は骨盤部 MRI 画像及び CT, PET-CT 画像、組織標本、血液検体です。 取得した試料や試料・情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。 上述のように誰のものか分からないように加工された試料・情報を、パスワード付きの記憶媒体にいれ、手渡しによって、広島大学に提供し、解析に用いられ、組織学的・生物学的判断根拠を実装した新規 AI 診断・予後予測システムを構築します。
代表機関 広島大学 医系科学研究科 産科婦人科学 研究責任者：古宇 家正 共同研究機関 県立広島病院 産婦人科 研究責任者：三好 博史 機関の長：板本 敏行
試料・情報の管理責任者 広島大学病院 周産母子センター 講師 古宇 家正
個人情報の保護について 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。また本研究で得られた試料・情報は将来計画・実施される研究にとっても貴重なものとなる可能性があり、将来の研究に使用させていただく場合には、改めて広島大学疫学研究倫理審査委員会で承認を得た上で使用します。 研究に試料・情報を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8530 広島市南区宇品神田 1 丁目 5-54

T e l : 082-254-1818

県立広島病院 産婦人科 主任部長 三好 博史